

発行所  
**岐阜県中小企業団体中央会**

岐阜市数田南5丁目14番53号  
 岐阜県県民ふれあい会館8階

毎月20日発行 購読料 年間1,500円(1部125円)

事務局直通電話

総務チーム 058-277-1100(代)

労働支援チーム 058-277-1103

情報チーム 058-277-1102

東濃支所 0572-25-0865

東濃支所 FAX 番号 0572-23-7431

組織支援チーム 058-277-1101

広報チーム 058-277-1103

事務局 FAX 番号 058-273-3930

飛騨支所 0577-34-4300

飛騨支所 FAX 番号 0577-36-4220



組合役員研修会 →

← 中小企業現場めぐりツアー



2008  
**7**月号

主な記事

中央会の動き(組合役員研修会ほか)  
 組合等の動き(関工業団地が市と協定ほか) 2~3  
 6月の景況調査 4  
 組合クリニック 5

事務局だより(研修会の案内ほか) 5~7  
 2008年暑中見舞広告 8~13  
 21世紀職業財団からのお知らせ 14

時の  
**課題**

中央会では、官公需への取り組みの一つとして、ホームページ上に「官公需情報(発注計画等)」を掲載しております。これは、「中小企業者の受注の確保に関する法律」に基づき閣議決定される、中小企業者に関する国等の契約の方針において、「情報提供は、中小企業団体中央会を通じてすること」、また、「中小企業団体中央会の協力によりメール等電子的手段を活用し中小企業者に直接する」によるものです。この「平成20年度中小企業者に関する国等契約の方針(以下「国等の契約の方針」という。が、6月17日に閣議決定されております。

平成20年度中小企業者に関する  
**国等の契約の方針**

~ 閣議決定 ~

その中で、国等の契約の締結に当たっては、予算の適正な使用に留意し、中小企業者を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、中小企業基本法第3条に掲げる基本理念に則り、中小企業の経営基盤の強化を図るため、国等の契約の方針に基づき、中小企業者の受注の増大のための措置を講ずるとされています。

また、その運用に際しては、国等の調達する物品等(工事及び役務を含む。)の受注を確保しようとする中小企業者の自主的な努力を助長し、公正な競争が行われるよう配慮することとなっています。

具体的には、情報提供の促進 中小企業官公

需特定品目等の発注情報の提供及び受注機会の増大  
 官公需適格組合等の活用 指名競争契約等における受注機会の増大  
 中小企業者への説明会の徹底 銘柄指定の廃止 分離・分割発注の推進  
 計画的発注の推進及び労働時間短縮への配慮  
 地方支部局等における地元中小企業者等の活用  
 中小建設業に対する配慮などとなっており、国等の契約のうち、中小企業者向け契約目標額は、約4兆2,132億円(官公需総予算額に占める比率が51%)となるように努めることとされています。

そして、国は、地方公共団体に対し、国等の契約の方針を参考にして、地域の実情に応じ必要な場合には、中小企業者の受注機会の増大のための措置を講じ、適切な運用が図られるよう要請することとなっています。

中央会では、本年度の官公需への取り組みとして、中小企業者の受注機会の確保のために、国等の契約の方針に定める、前述の官公需情報の提供をはじめ、官公需適格組合の活用促進に努めるとともに、県内の国の関係機関及び県・市等の発注担当者に対して、7月24日にこの国等の契約の方針の説明会を県民ふれあい会館で開催するとともに、11月には会員の要望事項について県当局との懇談会(官公需フォーラム)の開催を予定しておりますので、是非ご参加下さい。

◆ 組合まつりを開催します! 多数のご参加、ご来場をお待ちしております。

【日時】8月7日(木)・8日(金)

15時~21時 【場所】県民ふれあい会館

## 組合役員研修会を開催

中央会は、組合役員研修会「組合役員の役割と責務～期待に応える役員になるために～」を6月23日に岐阜市の未来会館で開催した。多くの組合が5月に総会を開催し、新しく役員に就任される方も多いため、組合役員の役割や責任等について、理解を深めてもらうことを目的に開催し、組合役員ら約60人が参加した。

講師は中小企業診断士の清水透氏に依頼し、協同組合の原則といった基本的な事項から、役員の責任や組合事業についてなどの運営に関することまで、

裁判事例を紹介しながら説明した。

清水氏は、「よく組合員が、組合に加入していてもメリットがない、と言うが、これは組合員に“一人は万人のために、万人は一人のために”という意識が欠けているから。組合員と組合はビジネスパートナーであるという意識を持ってもらい、組合員と執行部・事務局との意識のギャップを埋めるよう努める必要がある。このことが組合員の期待に応える役員になるための第1歩だと思ってもらいたい」と説明。その上で、組合員が求めるニーズの把握や組合員がまだ気付いていないニーズを見つけることなど、組合役員としての積極的な役割について説明した。

## 中小企業現場めぐりツアーを開催

中央会は、地元中小企業が優秀な人材の確保が図れるよう、岐阜県金属工業団地協同組合(6月25日)と大垣市鉄工協同組合(7月9日)を対象に「中小企業現場めぐりツアー」を開催した。

東海職業能力開発大学の学生がそれぞれの団地を訪問。金属団地の視察には174人が参加し、組合員企業10社から会社概要や事業内容などが説明された。最初に組合担当者から「団地内の企業は、技術力も

高く、モノづくりを極めるには最適な環境だと思っている。モノづくりが好きな人や興味がある人は、この団地内の企業に就職して、モノづくりの面白さを感じて欲しい」とあいさつした。昼食後には、各企業の工場を視察し、現場スタッフから製品紹介や生産工程の説明がなされた。

また、大垣市鉄工団地の視察には57人が参加し、2班に分かれて企業視察を行った。学生の一人は、「製造工程を見学し、ますますモノづくりに興味がわいた」と感想を語った。

## 経営戦略に商標を活用

昨今「地域団体商標制度」「小売等役務商標制度」が相次いでスタートし、商標の活用が進められている中で、類似商標などの問題も山積しているため、中央会では「商標を知り経営戦略に役立てる！」をテーマに、経営戦略セミナーを6月12日に県民ふれあい会館で開催した。

セミナーでは、国内外に拠点を構え、全国でも

トップクラスの実績を有しているオンダ国際特許事務所の恩田博宣会長から、商標の持つ機能や役割のほか、中国の商標事情などについて話があった。

恩田会長は、「商標は品質保証、出所表示、広告宣伝の3つの機能を持つ物言わぬセールスマンである。ブランド力を高めれば、企業の信用と顧客の吸引力につながる」と語るなど、商標がもたらすメリットについて話した。

## 県寒天展示品評会を開催

岐阜県寒天水産工業組合(中嶋一昇理事長)は、天然細寒天の品質向上を図るため、「第53回県寒天展示品評会」を行った。

恵那市山岡町内の11業者から100点の作品が出品され、つや、色、形状などを審査し、最高賞の農林水産大臣賞には西尾憲之氏が選ばれた。優秀者に対

する表彰式が6月4日に恵那市山岡町の山岡農村環境改善センターで開催され、中嶋理事長は開会にあたり「山岡細寒天は地域ブランドの認定を受け、また、新商品開発にも取り組み、山岡細寒天入りカレー・スープを商品化した。今後も、先人の努力に恥じないよう、良い商品を作っていきたい」と、あいさつした。

## 東京で岐阜の地酒をPR

岐阜県酒造組合連合会(中島善二会長)は、6月11日に東京都豊島区の池袋サンシャインシティで開催された「日本酒フェア2008」(主催=日本酒造組合中央会など)に出展した。また、岐阜県東京事務所の協力も得て、県内観光地のパンフレットも配布し、観光と合わせて岐阜の地酒のPRを行った。

同フェアは、「全国新酒鑑評会公開きき酒会」と「全国日本酒フェア」を同時に開催する日本酒の一大イベントで、フェアには全国から44酒造組合などが出展し、本県からは、組合員57社のうち28社が参加した。展示ブースでは、来場者に試飲してもらい、地酒の特徴などを説明したほか、酒の肴に「赤かぶ」などの県内産品を提供し、好評を得ていた。

## 室内装飾がボランティア活動

岐阜県室内装飾事業協同組合(上野洋之進理事長)は、ボランティア活動として、土岐市の知的障害者更生施設「県立はなの木苑」の内装改修を行った。同組合では、平成18年度から社会貢献として更生

施設等のカーテンやクロスの取り替えを無償で実施している。今年も地元組合員ら5人が専門の工具を使い、8室ある洗面所の腐食した床シートの張替え作業を行った。上野理事長は、「入居者が快適に過ごすため、役に立てれば」と話していた。



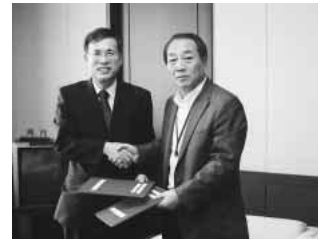
### 関工業団地が市と災害支援協定を締結

関工業団地協同組合(宮田時男理事長)は、関市と「災害時における応急対策支援活動等の協力に関する協定」を締結した。締結式は、6月12日に関市役所市長室で行われ、協定書に尾藤市長と宮田理事長が署名した。

支援協力の内容は、災害時における救護や救助、障害物の除去、消火活動等の支援、物資、資機材等の提供、一時避難地としての敷地等の解放など

となっている。宮田理事長は、「災害時に行政と企業が協力し、迅速に支援や復興に当たれるよう災害協定を締結した。関市の安全に貢献し、組合も継続的に発展していきたい」と感想を語った。

また、同組合では、組合設立20周年記念事業として関市に100万円を寄付した。



### 東濃ひのき製品流通がソニーと委託契約

木質バイオマス発電所の管理・運営を行う東濃ひのき製品流通協同組合(杉山計弘理事長)は、ソニーと発電委託契約の締結式を6月12日に加茂郡白川町の林業センターで行った。

同組合では、木くず等を燃やして年間300万kwhを発電している。この電力は環境に配慮したグリー

ン電力で、日本自然エネルギー(株)がその権利の仲介している。これに注目したソニーは、組合で消費する電力のうち年間約100万kwh分を日本自然エネルギーが発行する「グリーン電力証書」として購入し、また、環境価値分を上乗せして支払うことで、環境に配慮した電力を使用したとみなされる。組合では、「委託契約により、地球温暖化防止につながる取り組みに貢献できた」と成果を語った。

### 優秀観光地づくり賞

#### 下呂温泉旅館が金賞を受賞

日本観光協会が主催する「第15回優秀観光地づくり賞」に、下呂温泉旅館協同組合(滝多賀理理事長)が金賞に選ばれた。表彰式は、6月19日に横浜市で開催した「旅フェア2008」の開会式の中で行われた。

同組合では、温泉の集中管理のほか、地域一体の観光地づくりに取り組んでおり、下呂温泉まつりや謝肉祭など各種イベントの開催、健康ツアーの企画、

化粧水の開発など、滞在型に向けた積極姿勢が評価された。滝理事長は、「先人がやってきたことを継承して“本物の温泉”を守ってきた。お客様に喜んでもらえる観光地となるよう、今後も組合で様々な活動を行っていききたい」と、受賞の喜びを語った。



### 赤帽が創立30周年記念式典を開催

赤帽岐阜県軽自動車運送協同組合(矢野信和理事長)は、6月22日に岐阜市のホテルパークで創立30周年記念式典を開催した。

同組合は、昭和53年に軽車両で運送事業を行う事業者で設立。現在では、組合員数約130名、車両台数200を超える組織となり、平成18年からは県が進める「安全・安心まちづくりフレンドリー企業」に登録し、配達車両に「子ども110ばん」のステッカーを

掲げ、子供を犯罪から守るための社会貢献活動を行うなど、積極的に活動している。

式典は多数の来賓が出席する中、組合功労者らに表彰状が贈られたほか、アトラクションとして三味線の演奏が披露された。



### あぶらえ入りサブレで飛騨高山をPR

飛騨高山旅館ホテル協同組合(堀泰則理事長)は、飛騨高山ブランドをPRするため、組合員のホテルや旅館で販売する「あぶらえ(エゴマ)入り真向兔サブレ」を商品化した。

パッケージには、東海北陸自動車道の全線開通を祝すシールが添付され、昨年組合が作成したシンボルデザインで包装されている。また、真向兔の形を

したサブレは、地域の郷土料理に使われるあぶらえを混ぜて作られており、組合では「東海北陸自動車道の全線開通で観光客の増加が見込まれる。お茶うけにも出して、飛騨高山のお土産の一つに育てたい」と話している。



### 岐阜眼鏡士認定講習会が開講

岐阜県眼鏡商業協同組合(木方伸一郎理事長)は、6月20日に岐阜市文化センターで、岐阜眼鏡士認定講習会第2学年の開講式を行った。開校式には本会の大野耕平専務理事も出席し、受講生らを激励した。この講習会は3年を1区切りとするもので、今年

が2年目。開講式後には早速講習会がスタートし、岐阜眼鏡士を目指して10人が知識習得に励んだ。また、同講習会は眼鏡士の更新のための講座にもなっており、すでに眼鏡士として活躍している17人も参加した。休憩時には、眼鏡士を目指す受講生に眼鏡士の先輩からアドバイスをする姿も見られた。

夏交通安全県民運動 実施期間 7月11日(金)～7月20日(日) スローガン「ゆずりあう心で 夏の交通安全防止」

【岐阜県交通安全対策協議会】

# 景況感低迷 マイナス60台続く

## 6月景況調査

中央会が主要業種85組合(うち82組合による集計)を対象にまとめた『6月の特色』は次のとおり。

【6月の特色】組合から見た県内中小企業の特色は 景況感低迷 マイナス60台続く となっている。

6月の景気動向を前年同月比景況感DI値で見ると、マイナス66となり、前月のマイナス64対し、2ポイントの悪化、昨年10月以降悪化傾向が続いている。また、3月以降のDI値の水準は、マイナス60ポイント前後で推移するなど、強い悪化傾向にある。

業種別にみると、前月と同様に、製造業では全体に低調な中、販売価格DI値に改善傾向がみられる。非製造業では、主要項目のDI値に悪化傾向が強くなっている。

他の主要な調査項目については、売上高DI値マイナス41で、前月比5ポイント減、販売価格DI値マイナス5で、前月比2ポイント減、収益状況DI値はマイナス62で、前月比2ポイント減と全て悪化の動きとなった。

コメントでは、業況の低迷要因として、燃料費、材料費の値上げが続き、価格転嫁の追いつかないことによる収益悪化や、先行きに対する不安感を訴える意見が依然多い。また、個別業界の特徴として、食品の中でも菓子業界は、嗜好品に近く買い控えの対象になりやすいため大変厳しい状況である。異常なまでのガソリンの高騰、物価の値上がりなどで、運賃も燃料サーチャージ制の導入を議論しているとの意見も出ている。

## 県内中小企業主要業種の景気動向

(6月末調査)

表の見方

好転 +30 < DI < +10	やや好転 +10 < DI < +30	変わらず -10 < DI < +10	やや悪化 -30 < DI < -10	悪化 DI < -30	増加、上昇、好転、拡大
					減少、下降、悪化、縮小

	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
製造業DI値						

区分	業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳・乳製品						
	豆腐						
	食肉(国産)						
	菓子						
繊維・同製品	繊維						
	合成繊維織物						
木材・木製品	製材						
	家具(飛騨地区)						
紙・紙加工品	家庭用紙						
	特殊紙加工品						
印刷	印刷						
化学	プラスチック						

区分	業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
窯業・土石	陶磁器(工業)						
	陶磁器(輸出)						
	タイル						
窯業・土石	窯業原料						
	生コンクリート						
	砂利生産						
鉄鋼・金属	铸件						
	刃物等金属製品(輸出)						
	刃物等金属製品(内需)						
一般機械	県金属工業団地						
	可児工業団地						
電気機器輸送用機器	金型						
	電気機械器具						
	輸送用機器						

	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
非製造業DI値						

区分	業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
物産品	各種物産品(観光)						
	各種物産品(ギフト)						
卸売業	医薬品卸						
	電設資材卸						
	陶磁器産地卸						
小売業	機械・工具販売						
	青果販売						
	水産物商業						
	家電機器販売						
	メガネ販売						
	中古自動車販売						
	石油製品販売						
	共同店舗(東濃)						
	共同店舗(飛騨)						
	生花販売						
商店街	岐阜市商店街						
	大垣市商店街						
	多治見市商店街						
	恵那市商店街						
	高山市商店街						
サービス業	自動車車体整備						
	自動車タイヤ整備						
	長良川畔旅館						
	下呂温泉旅館						
	高山旅館						
	クリーニング						
	広告美術						
	情報サービス業						
	映像制作業						
	飲食業						
建設業	ビルメンテナンス						
	理容・美容業						
	土木(岐阜地区)						
	土木(飛騨地区)						
	土木・建築(羽島地区)						
	建築設計						
	鉄構造物						
	電気工事						
	管設備工事						
	建築板金						
運輸業	木製建具						
	産直住宅(東白川地区)						
運輸業	貨物運送(県域)						
	軽運送						

## 組合クリニック(Q & A)

### 1つの法人から複数の役員を選出することについて

Q. 1 理事のうち組合員たる1法人の役員から複数の理事を選任できるか。

2 組合員たる1法人の役員から理事と監事を選任できるか。

3 上記の質疑1、2が合法的な場合、被選者1人を除き他は員外役員となるのか。

4 質疑2の合法的な場合に、1法人でも1組合員であるので1組合員から理事と監事が出ることは役員の兼職禁止に抵触するとの意見、役員は自然人(個人)として就任するので同一法人から出ても兼職とならないとの意見、のどちらが正しいか。

A. 1 理事は、組合員たる1法人の役員から複数の理事を選任できます。

2 組合員たる1法人の役員から理事と監事を選任できます。

3 員外役員とは、「組合員たる法人の役員」以外の者です。よって、組合員たる法人から複数の組合役員を選任した場合でも、その者が当該組合の役員であれば員外役員にあたりません。

4 役員は自然人として就任するので、同一法人から出ても兼職とはなりません。

### 理事と組合との関係について

Q. 理事と組合との関係は民法643条の委任によるものか。

A. 中協組法第35条の3で「組合と役員との関係は、委任に関する規定に従う」と規定されており、組合と役員(理事又は監事)との関係は、民法上の委任契約に関する一連の規定が適用されます。したがって、組合と理事との関係は民法第643条～第656条の規定に拠るところになります。

委任契約とは民法で規定されている13種類の契約の一つで、法律行為をなすことを他人に委託し、承諾することによって成立する諾成・不要式の契約です。また、受任者(役員)は、善良な管理者の注意をもって、委任事務を処理する義務(善管注意義務)を負うこととなります。



8月7・8日は「組合まつり」 ご参加、ご来場をお待ちしています!!

中央会では、今年も夏の一大イベント「組合まつり」を、8月7・8日に県民ふれあい会館で開催します。

7日には、「岐阜県の中小企業 活性化フォーラム」を開催し、NHK経済番組「ビジネス未来人」でメインキャスターを務めた経験を持つジャーナリスト・キャスターの三神万里子氏による基調講演を行うほか、国が取りまとめた元気なモノ作り中小企業300社に選ばれた長谷川刃物(株)の長谷川勝彦社長、地域団体商標として「飛騨のさるぼぼ」の登録に尽力した飛騨のさるぼぼ製造(協)の中澤澄夫理事長から事例発表などをしていただきます。

また、両日共に2・3階のバルコニーにて産品・観光等フェアを催し、県内産品などを展示販売致します。多くの皆様の参加をお待ちしています。

日時及び場所 8月7日(木)・8日(金)

岐阜県県民ふれあい会館

1. **7日** 「岐阜県の中小企業 活性化フォーラム」  
(13時30分～15時30分 3階大会議室)

基調講演 13時30分～14時30分

テーマ:「地方都市から市場をつくる～全国先端事例集～」

講師:ジャーナリスト・キャスター 三神万里子氏(信州大学経営大学院 客員准教授)

プレゼン・ディスカッション 14時30分～15時30分

テーマ:「私たちは、こんなふう頑張っている!」

発表者:長谷川勝彦氏(長谷川刃物(株)・代表取締役)中澤澄夫氏(飛騨のさるぼぼ製造(協)・理事長)

2. **7・8日** 「岐阜県の組合 産品・観光等フェア」  
(15時～21時 2・3階バルコニー)

岐阜県内の地域に根付いた「岐阜ならではの特色ある煎餅・和菓子や麺類等の食品」、「職人の技が光る東濃ひのきや長良杉の木工品等」、「伝統ある美濃焼・関の刃物・美濃和紙のクラフト製品」、「組合等が心血を注いで開発している各種製品」等々、必見です。お問い合わせは、組織支援チームまで。



### 官公需問題懇談会のご案内

中央会では、中小企業の官公需受注の確保を支援するため、中部経済産業局の担当者による「平成20年度中小企業者に関する国等の契約の方針」についての説明会及び官公需問題懇談会を開催します。懇

談会には、県内の市及び町の発注担当者も参加し、官公需受注確保上の問題点や要望等について、意見交換を行います。

お問い合わせは、広報チームまで。

【日時】7月24日(木) 10:00~12:00

【場所】県民ふれあい会館 中会議室

### 女性職員の皆さん、ご参加下さい!

中央会では、女子職員向けのスキルアップセミナーを開催します。コーチング研修で名古屋NO.1の実績を持つ(株)エ・ム・ズの秋田稲美社長から、各自の能力をビジネスシーンにおいて、最大限に活かすための秘訣などを学びます。

また、セミナー後には、女性職員同士の交流を深

めるための交流会(参加料:2千円)も行いますので、是非ご参加下さい。お問い合わせは、情報チームまで。

【日時】8月19日(火) 13:30~16:00

(15時から交流会)

【場所】グランヴェール岐山 会議室

【テーマ】「自ら考え 自ら動き 自ら結果を出せる部下になるために」

### 開催間近!食品鮮度管理セミナー

中央会では、食品鮮度管理セミナーを開催します。商売人の経験や勘に頼りがちだった「食品の鮮度管理」について、科学的根拠に基づいて正しく理解していただき、食品を取り扱う方々が自信を持って鮮

度保持対策に取り組めるよう、事例等も交えながら鮮度管理ノウハウを伝授します。

お問い合わせは、労働支援チームまで。

【日時】7月24日(木) 13:30~15:30

【場所】県民ふれあい会館 レセプションルーム

### 「下請けガイドライン説明会」開催のご案内

全国中央会及び岐阜県中央会では、昨今の原油・原材料の価格上昇等の影響により、親事業者による下請事業者に対する買いたたきの増加が報じられるなど、中小企業者の取引環境が厳しくなっている中、平成19年度に政府において策定された「下請け適正取引等の推進のためのガイドライン」を普及啓発するため、中小企業者等向け「下請けガイドライン説明会」を無料で開催します。

“下請ガイドラインの内容を知りたい”、“組合員向けに説明会を開催してほしい”など、下請ガイドライン説明会の実施について希望する中小企業者及び組合等は、開催日時や場所の設定など、開催内容についてご相談させていただきますので、中央会・組織支援チーム(058-277-1101)までご連絡下さい。なお、同事業の詳細は、全国中央会ホームページ([http://www2.chuokai.or.jp/hotinfo/08shitauke\\_gl.htm](http://www2.chuokai.or.jp/hotinfo/08shitauke_gl.htm))でご覧いただけます。

### 中央会後援、労務管理セミナーのご案内

中央会が後援する「よりよい人事・労務管理セミナー」(岐阜労働局、県などが共催)が、8月8日の13時30分から16時まで、高山市の飛騨・世界生活文化センターで開催されます。

セミナーでは、未来工業(株)の取締役相談役の山田昭男氏が「人材と人財~我が社のワークライフバラ

ンス~」をテーマに講演するほか、岐阜労働局から新しい労務関係のルールについての説明、中小企業退職金共済事業本部が適格年金制度の移行問題と中小企業退職金共済制度について説明します。

参加料は無料ですが、先着順での受付となります。お問い合わせ、申込みは中央会・労働支援チーム又は県労働雇用課までご連絡下さい。

### 新規高卒者の就職に関する要望

岐阜県高等学校長協会の田村弘司会長が6月26日中央会を訪問され、新規高等学校卒業生の就職に関する要望がありました。その要旨は次のとおり。

『本県には、高等学校及び特別支援学校を卒業後、直ちに就職を希望する生徒が多数おり、責任を持つ

て推薦できる優秀な人材ばかりです。将来を担う若者が希望や適性等を生かすことの出来る職場を提供していただきますよう、特段のご理解とご配慮をお願い申し上げます。』

なお、就職希望者数は、新規高等学校卒業予定者(19,200人)のうち、約4,600人、特別支援学校高等部卒業予定者(296人)は、137人となっています。

### 労働時間等見直しガイドラインが改正

事業主及びその団体が、労働時間等の設定の改善について適正に対処するために必要な事項について定めた「労働時間等見直しガイドライン」が改正されました。

ガイドラインでは、年次有給休暇取得率(H18年

=46.6%)の完全取得や週労働時間60時間以上の雇用の割合(H19年=10.3%)の半減を10年後の目標値としており、計画的な年次有給休暇の付与や「ノー残業デー・ウィーク」の導入などを具体的な取組例として示しています。

詳しくは、「労働時間等見直しガイドライン」のホームページをご覧ください。

## 中小企業全国大会にご参加下さい!

全国中央会と宮城県中央会の主催で「第60回中小企業団体全国大会」が、11月20日(木)午後1時30分から4時まで、仙台市の仙台サンブラザ「サンブラザホール」で開催されます。

今年は「連携、拠点、政策発信～躍動する中小企業!～」をキャッチフレーズに、全国の中小企業団体の代表が一堂に会し、自らの決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の強化充実を訴え、中小企業組合を中心とする連携組織を

基盤とした中小企業の安定的な発展と豊かな社会を実現するため、全国から約2,000名が参加する予定です。

大会参加費は1人4,000円です。大会の概要等については、本会ホームページに掲載しております。参加を希望される場合は、中央会・広報チームまでご連絡下さい。

組合役職員の皆様、多数の参加をお願い致します。



## 元気なモノ作り中小企業に県内から9社

今年も経済産業省、中小企業庁から「元気なモノ作り中小企業300社」が発表され、県内から9社が選ばれました。

国では、普段は目に触れにくい重要な役割を果たしているモノ作り中小企業の姿を、広く国民に対してわかりやすく示すことで、これら中小企業のやる気を一層引き出すとともに、若年層を中心にモノ作り分野に対する関心を持つきっかけとなるようにと、

2年前から元気なモノ作り中小企業の取りまとめを行っています。東京国際フォーラムで行われる「新連携/モノ作り中小企業全国フォーラム」(8月5・6日に開催)では、今回選定された企業の製品や部品がパネル等で紹介されます。

選定された企業は次のとおり。

アピ(株)(岐阜市)、旭金属工業(株)・日本リファイン(安八郡)、日本耐酸壘工業(株)(大垣市)、足立工業(株)・長谷川刃物(関市)、(株)打江精機(高山市)、エーティー技研(株)(多治見市)、森松工業(株)(本巣市)

## 8月開幕!国際陶磁器フェスティバル美濃

3年に一度開催される「国際陶磁器フェスティバル美濃'08」が、多治見市のセラミックパークMINOで、8月1日から9月30日まで開催されます。

50を越す国と地域より集まった約3,000点から、選りすぐられた約200点の作品が展示されるなど、見どころ満載の展示会です。詳しくはホームページ(<http://www.icfmino.com>)をご覧ください。

## 中央会会費納入のお願い

中央会では、『第53回通常総会』でご承認頂きました「平成20年度会費」につきまして、6月下旬に文書にて会費の請求をさせて頂きました。

会員各位におかれましては、厳しい経済環境の折、

誠に恐縮に存じますが、9月末日までに納入頂きますようお願い申し上げます。

また、振込依頼書の振込金受取書をもって領収証に代えさせて頂きますが、別途領収書が必要な場合には領収書を発行致しますので、総務チーム(058-277-1100)ご連絡下さい。

## 「暑中見舞い広告」のお礼

この度、『岐阜県中小企業情報』における「暑中見舞い広告」(7月号・第585号)に多数のご協賛・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

また、会員組合の皆様方が取り込まれる研修会、イベント等につきまして、本紙紙面で掲載させていただきます。広報チーム(058-277-1103)まで、情報提供をお願いします。



### 8月中

7・8日 組合まつり(7日) = 「活性化フォーラム」13時30分～ /

7・8日 = 「産品・観光等フェア」15時～) 県民ふれあい会館

### パソコン研修

【Word 実用講座】5日(飛騨会場)・8日(中濃会

場) / 【Excel 実用講座】6日(岐阜会場)・7日(東濃会場)・12日(飛騨会場)・19日(中農会場) / 【Excel 活用講座】21日(東濃会場)・27日(岐阜会場)

パソコン研修の日程は、本紙6月号に掲載しております。申込締切後の講座でもまだ余裕がある場合がございますので、情報チームまでお問い合わせ下さい。

### 6月21日～30日

22日 赤帽岐阜県軽自動車運送(協)・創立30周年記念式典(ホテルパーク)

23日 若年者雇用問題検討会議(岐阜労働局)

27日 雇用・能力開発機構運営協議会(雇用・能力開発機構岐阜センター)

### 7月1日～20日

3日 岐阜地方最低賃金審議会(岐阜合同庁舎)

10日 岐阜地方最低賃金審議会・運営小委員会(岐阜合同庁舎)

11日 岐阜県産業教育振興会総会(県庁)

14日 岐阜県産業経済戦略会議(県庁)



◆ : 《加入申込み・資料請求》  
中退共制度の加入申込みは岐阜県中小企業団体中央会で取り扱っています。ぜひパンフレット・申込書をご請求下さい。